

案件概要書

2013 年 10 月 29 日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

1. 案件名（国名）

国名： モーリタニア・イスラム共和国

案件名： 国立ヌアクショット公衆衛生学校整備計画

(Project of Construction for the National School of Public Health)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発実績（現状）と課題

モーリタニア・イスラム共和国（以下、「モーリタニア」）の保健の状況は、5 歳未満児の死亡率が 122/1000 出生、妊産婦死亡率が 686/10 万出産と、サハラ以南 アフリカの中でも劣悪な状況にある。国土が広大な中、社会インフラ整備が追いつかず、MDGs 達成が危ぶまれる状況にある。かかる状況の下、保健人材の育成は必要数を大幅に下回っており、かつ、その中心的機関であるヌアクショット国立公衆衛生学校では、定員 370 名のところ 809 名が在籍している。定員の倍以上の学生を受け入れるため、同校では、午前午後の二部制による講義実施や実習時期の調整等が行われており、教育の質が確保できない状況にある。さらに同校は、他ドナー協力の下、看護師育成等に関する新カリキュラムの策定を行ったが、施設、機材等の不足から、現状の教育環境では新カリキュラムに基づく課程を行うことが困難な状況にある。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

モーリタニア政府は「貧困削減戦略文書（PRSPIII 2011- 2015）」に基づき、「国家保健計画 2012-2020」を策定し、保健サービスの提供と共に保健人材開発を早急に取り組むべき課題としている。保健人材開発の中心たる同校の受入能力を増強する本計画は、同文書の要となる計画に位置付けられることから、早期実施の必要性は高い。

(3) 保健セクターに対する我が国の援助方針

本事業は、TICAD V のコミットメント「保健分野における 50 億円の支援」に沿う他、国別援助方針で重点分野としている「都市部における貧困削減」にも合致する。また、本事業は我が国の新国際保健政策（2011-2015 年）の EMBRACE モデル（コミュニティと医療施設を繋げる切れ目ないケアの実現のための保健システム強化支援パッケージ）の人材育成に貢献する。

(4) 他の援助機関の対応

世界保健機関（WHO）、スペインやイタリア(NGO)の協力で、国立ヌアクショット公衆衛生学校の規模拡張を見据えた新カリキュラムの策定が行われている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業により、国立ヌアクショット公衆衛生学校新校舎を建築し、機材を整備す

ることにより、同校の教育環境を改善するとともに保健人材の育成数の増加を図り、もって同国の保健医療サービスの質・量の改善に寄与する。具体的には、学校定員及び修了者数の増加等を目指す。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ヌアクシヨット市

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】教室30、執務室19、会議室2、実習室6、大教室2、図書室、学生寮、食堂等

【機材】机、椅子、教師用机、実習機材、実習用医療機材、視聴覚機材、ベッド、棚、シャワー室、食堂キッチン等

2) コンサルティングサービス（基本設計、詳細設計、入札補助、施工監理）

(4) 事業実施体制

事業実施機関：ヌアクシヨット国立公衆衛生学校

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： C

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：卒業生が貧困地域で保健サービス提供に従事することが見込まれる。具体的インパクト等は協力準備調査にて確認。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携： 当該分野では、保健人材育成にかかる本邦研修やセネガルにて実施される第三国研修を実施している。また、上記2. (4)のとおり、他ドナーによる教員養成カリキュラム策定への支援が行われている。他ドナー支援との連携・役割分担については協力準備調査にて詳細を確認。

(7) その他特記事項： 特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

カンボジア国のバンティミエチャイ州モゴルボレ病院改修計画の評価等においては、調達機材に関して、維持管理の予算確保、所要人員の配置、スペアパーツ調達ルート確保等について入念に検討して選定されるべきとしている。

(2) 本事業への教訓

上記の評価結果を踏まえ、本計画においては、調達機材維持管理等に関する必要事項を協力準備調査にて確認する。

以上

〔別添資料〕 地図



プロジェクト位置図



国立公衆衛生学校全体風景。手前の敷地を使って教室を増築することを想定している。